

<香川県内の経済動向> (平成 29 年 6 月 15 日作成)

現在の景気：緩やかな回復を続けている。

3 か月程度の見通し：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

個人消費：一部に弱さもみられるものの基調的には持ち直している。

4 月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比 0.4%減と 5 カ月連続で減少。店調後は前年比 0.0%。4 月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比（店調前）1.6%増と 2 カ月連続で増加。4 月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前）6.4%増と 2 カ月ぶりに増加、ドラッグストアが同 7.4%増と 25 カ月連続で増加、ホームセンターが同 2.1%減と 3 カ月連続で減少。4 月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比 8.7%と減少したものの、小型乗用車で同 15.8%増、軽乗用車で同 26.1%と増加し、全体では前年比 12.6%増と 6 カ月連続で増加。

住宅建築：このところ弱さがみられるものの、基調的には持ち直している。

4 月の住宅着工戸数は、持家で前年比 8.1%と減少したものの、貸家で同 36.5%増、分譲住宅で同 26.7%と増加し、全体では前年比 18.6%増と 3 カ月ぶりに増加。

設備投資：底堅く推移。

「全国企業短期経済観測調査結果（2017 年 3 月）-香川県-」における 2016 年度の設備投資は、全産業で前年度比 20.4%増加見込み。

公共工事：振れを伴いつつも高水準で推移。

4 月の公共工事請負額は、国・独立行政法人等で前年比 65.1%減、県で同 76.9%減、市町で同 72.4%と減少し、全体では前年比 70.8%減と 5 カ月ぶりに減少。

輸出：底堅く推移。

4 月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶で前年比 129.9%増となり、全体では前年比 95.3%増と 2 カ月ぶりに増加。1~4 月の累計では前年比 0.1%減少。

生産活動：振れを伴いつつも緩やかな持ち直しの動きがみられる。

3 月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比 1.6%上昇し、102.3 と 2 カ月ぶりに上昇。原指数は、前年比 4.2%低下し 107.8 と 2 カ月連続で低下。はん用・生産用機械工業（貯蔵槽、クレーン）、金属製品工業（橋りょう、アルミニウム建具）などで上昇。非鉄金属工業（電気金、電気銅）、化学・石油石炭製品工業（塩、医薬品）などで低下。

観光：底堅く推移。

4 月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比 1.7%増と 2 カ月連続で増加。1~4 月の累計では前年比 1.5%増加。

雇用情勢：好調に推移。

4 月の有効求人倍率（季調済）は、前月比 0.05 ポイント上昇の 1.72 倍。新規求人数（原数値）は、サービス業、医療、福祉等で増加し、全体では前年比 5.5%増と 2 カ月ぶりに増加。

(トピックス)

○香川県は5月18日、認可保育所や認定こども園に入所できない県内の待機児童の2017年4月1日時点の人数が、前年度比97人減の227人だったと発表した。県内の待機児童の内訳は、高松市が前年度比97人減の224人。前年度3人の宇多津町が0人になる一方、観音寺市で3人発生した。同市で4月1日時点の待機児童は初めて。県子育て支援課は、待機児童が減少した要因は、各市町が入所申込者の多い地域を中心に施設の新設や増床を進めたほか、保育士の確保に注力したためと分析している。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	○	●	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	○	●	○	○
住宅建築	○	●	○	○	●	○	○	○
設備投資	○	●	○	○	○	●	○	○
公共工事	○	●	○	○	●	○	○	○
輸出	○	●	○	○	○	○	●	○
生産活動	○	●	○	○	○	○	●	○
観光	○	●	○	○	○	●	○	○
雇用情勢	○	●	○	○	●	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					